

奥州道 芦野まつり2016 盛大に開催



無病息災を願う獅子が頭をガブリ!(那須歴史探訪館感謝祭 時庭の神楽奉納)

小春日和の11月12日、芦野地区では遊行庵直売所収穫・感謝祭、芦野公民館文化祭および那須歴史探訪館感謝祭が初めて同時開催され、多くの人でにぎわいました。

遊行庵直売所では、つきたてのお餅や地元野菜たっぷりの豚汁を皆さんおいしそうに食べていました。文化祭は公民館学級・教室の力作や児童生徒の作品が展示され、来場者の目を楽しませました。

また、歴史探訪館では文化協会茶道部による野点のほか、町指定無形民俗文化財である時庭の神楽が特別に奉納され、獅子に頭を噛んでもらい無病息災を願いました。



つるし雛や絵手紙など色鮮やかな作品が展示されました(芦野公民館文化祭)



地元野菜のたっぷり入った豚汁はおいしいね(遊行庵直売所収穫・感謝祭)

地域おこし協力隊として町民の方とお会いしたとき、「普段どういふことをしているの」と聞かれることがあります。日々の活動を「見える化」するために、インターネットの「那須町地域おこし協力隊」フェイスブックページで情報を発信しています。ぜひご覧ください。それと同時に、できるだけ多くの地域に足を運び、町民の方とお会いすることも大事だと思っています。「そもそも地域おこし協力隊って何」という問いに對しては、いろいろな考え方があると思いますが、私は「必要だけども足りていないこと」に目を向け、活動することだと考えていま



自転車と里山の地域おこしを目指します!!

地域おこし協力隊の
活動レポート
大瀧 剛
Vol.12

す。その中から仕事の種を見だし、那須町に住み続けて地域に貢献する。これが地域おこし協力隊のゴールだと思います。

そのような視点を持ちながら、具体的にこれからの活動として見据えているテーマが2つあります。ひとつは自転車振興の担当として、町内外の多くの方に「自転車の町、那須」をアピールできるメディアの制作です。那須町にはどういふサイクリストがいるのか。どういふコースを走ると安全で気持ちよく走ることが出来るのか。できるだけ詳細な情報を盛り込んだメディア自体が、そのまま那須町の地域振興に寄与するものになれたらと思います。自転車で那須町を盛り上げていく皆さま、ぜひ自分に取材などのご協力をいただければ幸いです。

もうひとつは、私が住んでいる伊王野地区の地域振興です。外から伊王野に人が訪れるために必要なことは何か。地元の方が集まれる場所を作ることではできないか。地域の活性化と自転車をうまく結びつけることはできないか。さまざまな課題がありますが、地域の人と連携して自分にできることを考えていきたいです。もちろんこの2つのテーマ以外にも、さまざまな場所で活動をしていきます。よろしくお願いします。